



作品概要

株式会社平成プロジェクト（李藝啓蒙推進実行委員会 幹事会社）
〒102-0092 東京都千代田区隼町 3-19 清水ビル 5F
TEL: 03-3261-3970（代表） FAX: 03-3261-3971 E-mail: info@heisei.pro

映画について

映画は、ナビゲーターに韓国人俳優ユン・テヨン起用、ナレーターに日本を代表する女性キャスター 小宮悦子を迎え、室町時代／朝鮮王朝前期に、地方の役人から国を代表する外交官になって日本と朝鮮の橋渡しをした実在の外交官「李藝」（リゲイ、韓国語読みは「イ・イエ」）と、彼が礎となって江戸時代に花開いた朝鮮からの親善使節「朝鮮通信使」の軌跡をたどった歴史ドキュメンタリー映画です。

個人の思いを貫いて生きることの尊さや、国と国との問題を越えて人と人が1対1で心を通じ合わせることの普遍的な力強さについて、穏やかな視点で向き合っています。

李藝は、倭寇で頭を悩ませていた日朝両国の友好関係を築くために生涯をささげ、71歳までに40数回も生死をかけた船旅で来日。そして日本では、朝鮮からの使節を心から歓迎しもてなした記録が、対馬から瀬戸内の各地に残されており、知られざる日韓交流の歴史に静かな感動が訪れます。映画はさらに、駐日韓国大使館主催のSNSリポーターの旅で韓国を訪れる日本の大学生達も追います。日韓の間に横たわる問題に関して、韓国人大学生達と正直な議論を交わす日本の若者の姿からは、日韓関係の将来に新たな希望を見出すことでしょう。

■作品概要

作品名： 「李藝—最初の朝鮮通信使」（読み方 リゲイ 韓国語読みはイ・イエ）
監督： 乾 弘明（いぬいひろあき）（『平成職人の挑戦』『海峡をつなぐ光』他）
ナビゲーター： ユン・テヨン（『太王四神記』『深夜病院』他）
ナレーション： 小宮 悦子
総合プロデューサー： 益田 祐美子（『平成職人の挑戦』『築城せよ！』『海峡をつなぐ光』等）
エグゼクティブプロデューサー： 金住 則行
制作： 花組
制作協力： 蔚山（ウルサン）MBC（韓国）
製作： 李藝啓蒙推進実行委員会（幹事会社㈱平成プロジェクト）
企画・配給： 平成プロジェクト
配給協力： 東京テアトル
上映時間： 71分
言語： 日本語・韓国語（日本語字幕付）
公式ホームページ： www.rigei.pro

■イントロダクション

日本と韓国の、長い歴史に埋もれていた一人の外交官 李藝

今、600年の時を越えて、その息吹が伝わる——

今から約600年前、朝鮮半島から命がけの航海で、43年間に40数回も来日した外交官がいた。名は李藝（リゲイ 韓国語読み イ・イエ）。地方の小役人だった李藝は、世宗（セジョン）大王の信頼厚い外交官となり、室町幕府・足利将軍に謁見するまで京都まで出向いた。しかし李藝には、8歳の頃母を倭寇に拉致されるという悲しい過去があった。少年の心に強く芽生えたであろう憎しみの情を、どのように友愛の情に変えて日朝の友好に人生をかけたのか…。日韓関係の新たな時代へ今だからこそ見るべき映画！

■ストーリー

韓国人俳優ユン・テヨンが、韓流ドラマやK-POPが席卷する今日の日本で、かすかに残された李藝の軌跡をたどり、釜山から京都までを旅する。驚くべきことに、今はさびれた瀬戸内の小さな港町には、朝鮮通信使をもてなした交流の歴史が、現在もなお大切に残されているのだった…。

同じ頃、駐日韓国大使館主催、朝鮮通信使の軌跡を辿る SNS リポーターの旅に参加した日本の大学生たちは、韓国で、知らなかった日韓の歴史に触れる。日本と韓国、たくさんの共通点があれば、避けられない問題も…。新しい世代の若者たちは、どう乗り越えていくのだろうか？

旅を通して見えてきたのは、いつの時代も変わらない、目の前の相手と心を通わせたいと願う人々の姿…。日本人と韓国人が共に前へ進むために、今だからこそ挑む、渾身のドキュメンタリー。

ナビゲーター 韓国人俳優ユン・テヨンの舞台挨拶より抜粋

Q:日韓関係、政治的にはいろいろなことがあります、どう思いますか？

ユン・テヨン「私達は政治家ではないが、国と国との関係はつまるところ、国民一人ひとりの意志が大事だと思います。直接人と人が触れ合うことを続ければ、きっと心の距離は近くなる。日韓友好というのは誰が行うのでしょうか。それは私達一人ひとりです。一個人として何ができるのかということ最近よく考えます。だから日韓関係というのは、政治家が作り上げるものではなく、国民が作るもの、私たち一人一人の意志と行動が政治家を動かすと思います。」

■感想

『李藝』をご覧になった方々からは、下記のような感想が多く寄せられています。

- 今、両国に立ちただかっていた恨み（ハン）がこの映画を見ながら溶けていくような希望を感じました。
- 日韓の歴史の深さに重苦しい感じがしましたが、人と人との交流に希望を見出せる気がしました。私達のように両国を愛する人たちで日韓関係が明るくなれば。
- 過去の問題を解いていくためには、これからの若者達が重要な立場に立っていると感じました。国と国を結ぶ大事な役割をこの映画が果たしてほしい。

■劇場公開

2013年6月1日（土）公開	東京・ヒューマントラストシネマ有楽町 名古屋・名演小劇場 大阪・シネ・リーブル梅田 広島・サロンシネマ
6月8日（土）公開	福岡・KBCシネマ 京都・京都シネマ
6月15日（土）公開	広島・シネフク大黒座（福山市）
7月6日（土）公開	北海道・ディノスシネマズ札幌劇場
7月20日（土）公開	青森・シネマディクト
9月7日（土）公開	沖縄・桜坂劇場
9月14日（土）公開	兵庫・元町映画館（神戸市）
11月7日（土）公開	福島・フォーラム福島
2014年1月18日（土）公開	高松・ソレイユ2

■ホール特別上映イベント

6/3（月）富山市	13:30 開場 14:30 開演 会場：とやま自遊館 1階ホール 主催：富山県日韓親善協会 共催：北日本新聞社／富山テレビ放送
6/4（火）岐阜市	13:30 開場 14:00 開演 会場：じゅうろくプラザホール 主催：『李藝』岐阜上映実行委員会 共催：（株）平成プロジェクト
6/5（水）大垣市	17:00 開場 18:00 開演 会場：大垣市スイトピアセンター文化会館 文化ホール 主催：李藝啓蒙推進実行委員会（幹事会社（株）平成プロジェクト） 協力：大垣精工（株）／（株）セイコーハイテック
6/6（木）高山市	18:30 開場 19:00 開演 会場：高山市民文化会館 小ホール 主催：高山市海外戦略室 李藝啓蒙推進実行委員会（幹事会社（株）平成プロジェクト）

- 6/7 (金) 藤枝市 17:45 開場 18:15 開演 会場：藤枝市生涯学習センター ホール
主催：玉虫愛好会 共催：(株)平成プロジェクト
協力：藤枝市／藤枝市教育委員会／藤枝市商工会議所／藤枝市観光協会
- 6/11 (火) たつの市 17:00 開場 18:00 開演 会場：赤とんぼ文化ホール中ホール
主催：李藝啓蒙推進実行委員会(幹事会社 (株)平成プロジェクト)
協力：たつの市教育委員会事務局社会教育課／嶋屋友の会
- 6/12 (水) 松山市 18:00 開場 18:30 開演 会場：シネマサンシャイン エミフル MASAKI
主催：李藝啓蒙推進実行委員会(幹事会社 (株)平成プロジェクト)
- 6/13 (木) 新居浜市 17:00 開場 18:00 開演 会場：新居浜市民文化センター中ホール
主催：(株)ハートネットワーク
共催：(株)平成プロジェクト／新居浜フィルムコミッション実行委員会
後援：新居浜市
- 6/14 (金) 高松市 17:00 開場 18:00 開演 会場：サンポート高松第一小ホール
主催：李藝啓蒙推進実行委員会(幹事会社 (株)平成プロジェクト)
後援：(社)香川県観光協会
- 7/13 (土) 奈良市 14:30 開場 15:00 開演 会場：奈良ロイヤルホテル
主催：一般社団法人やまと文化フォーラム
- 8/4 (日) 対馬市 10:30 開場 11:00 開演 会場：対馬市交流センターイベントホール
主催：朝鮮通信使行列振興会 共催：対馬市
- 9/14 (土) 名古屋市 14:00 開演 会場：ウィルあいち 2 回特別会議室
主催：特別非営利活動法人コリアンネットあいち・多文化ネットクミヨ
後援：公益財団法人愛知国際文化協会
- 10/26 (土) 11/2 (土) -4 (月) 10:00 開演 会場：長崎歴史文化博物館
主催：主催：李藝啓蒙推進実行委員会
協力：長崎歴史文化博物館
- 11/18 (月) 仙台市 13:30 開演 18:30 開演 (1 日 2 回上映) 会場：韓国会館 6F
主催：在日本大韓民国民団宮城県地方本部
- 12/10 (火) 静岡市 15:50 開映 会場：サールナートホール
主催：宗教法人宝泰寺
- 2014/1/28 (火) 東京都 13:00 開演 会場：女性就業支援センター ホール
主催：公益財団法人東京都人権啓発センター
- 2/26 (水) 東京都 18:30 開演 会場：台東区生涯学習センター・ミレニアムホール
主催：東京日韓親善協会連合会

■ナビゲーター：ユン・テヨン（俳優）プロフィール

1974年10月9日ソウル生まれ。米イリノイ・ウェスリオン大学経営学科卒業。実業家の父と同じ道を進むべくアメリカ留学までしたが、俳優になる夢をあきらめきれず、家族の反対を押し切って芸能界入り。酷烈な無名時代を過ごし、1997年のSBSドラマ『美しい彼女』で、主人公イ・ビョンホンが対戦するボクシング選手役で俳優デビュー。1999年のMBCドラマ『ワンチョ（親分）』のメンバル役で名が知られるようになり、第36回白象芸術大賞新人演技賞を受賞。2007年のMBSドラマ『太王四神記』では、ペ・ヨンジュンが演じる主人公タムドクと敵対するヨン・ホゲ役を好演、痛みと闇を抱いた英雄の姿を見せる役どころで、日本でも人気に火がつく。2011年のMBCドラマ『深夜病院』では、格闘技選手役のために12kgの減量をして臨み、深夜の放送枠では驚異的な視聴率を獲得、MBCドラマ大賞特別賞を受賞した。映画『李藝』撮影前には3か月間日本語を猛勉強。『李藝』で、2012年第19回韓日文化大賞の俳優部門を受賞。

「自分のために生きていくだけで精一杯の現代で、一介の俳優にすぎない私が、韓日のために何ができるのか…。今、韓国に大きな関心を寄せてくれている日本の方々に、韓日のもう一つの歴史の事実を伝えたい。これこそ、韓日交流のために今自分ができることだと信じて—。」 俳優 ユン・テヨン

■ナレーター：小宮悦子（フリーキャスター）プロフィール

1981年にテレビ朝日入社。1985年10月スタートの『ニュースステーション』でサブキャスターを13年間務め、久米宏とのコンビで視聴者の支持を集める。その後、「スーパーJチャンネル」のメインキャスターとなり、夕方2時間のニュース番組を最初に手がけた女性キャスターとして、高視聴率を達成。12年間夕方ニュースのトップを走り続けてきたが、また新たな挑戦をするため2010年に卒業。常に新しい形の報道番組に女性キャスターとして挑戦し続けている。

■監督：乾 弘明 プロフィール

北海道生まれ。1986年「ニュースステーション」（テレビ朝日）で、ディレクターになる。その後も主にドキュメンタリー番組の制作を中心に活躍。「素敵な宇宙船地球号」（テレビ朝日）など自然生態、環境問題、水中番組では専門家の間では高い評価を得ている。2010年より「池上彰の学べるニュース」（テレビ朝日）プロデューサー。ドキュメンタリー映画「平成職人の挑戦」では2005年文化庁文化記録映画優秀賞受賞。文部科学省特別選定。「蘇る玉虫厨子」では映文連アワード2008 ソーシャルコミュニケーション部門優秀賞授賞。文部科学省選定作品。本作は、『平成職人の挑戦』（2005）、『蘇る玉虫厨子』（2008）、『海峡をつなぐ光』（2011）に続く監督映画となる。

■李藝 について

1373年生 - 1445年没（73歳）韓国蔚山（ウルサン）出身、朝鮮王朝前期に活躍した実在の外交官。韓国語読みは「イ・イエ」、日本語読みは「りげい」
朝鮮王朝前期、日本では室町時代。8歳で母親を倭寇に拉致された後、困難の末に官人となり、対日外交に尽力する。朝鮮王朝世宗大王の信頼を得て、71歳までの間に日本に渡航すること40数回。日朝の外交、経済、文化交流に尽力し、母を探しながら、日本に連れ去られた朝鮮人667名を送還。江戸時代に盛んになった朝鮮通信使（朝鮮王朝から日本への外交使節団）の始祖となる。李藝の功績は近年改めて注目され、韓国政府より2005年「文化人物」、2010年「外交人物」に選定された。日本でも李藝を顕彰する「通信使李芸功績碑」が長崎県対馬市峯町の円通寺に2005年に完成。日本と朝鮮半島間の船旅が危険を極めた時代、驚くべき胆力・体力・行動力で、国と国をつなぐという偉業を成し遂げた。

■映画ロケ地 について（主要撮影日程は2012年6月～8月）

【日本】 長崎県（対馬市）、福岡県（福岡市／北九州市）、山口県（下関市）、広島県（呉市下蒲刈町／尾道市／三原市／福山市）、岡山県（瀬戸内市牛窓町／たつの市室津）、兵庫県（神戸市）、大阪府（大阪市）、京都府（京都市）

【韓国】 ソウル特別市、慶尚北道聞慶（ムンギョン）市、慶尚北道星州（ソンジュ）郡、蔚山（ウルサン）広域市、釜山（プサン）広域市

【お問合せ先】

李藝啓蒙推進実行委員会（幹事会社(株)平成プロジェクト内）^{ユン} 尹

TEL: 03-3261-3970（代表）E-mail: info@rigei.pro 東京都千代田区隼町3-19 清水ビル5F